

「実績報告書作成要領」の一部修正について

1. 修正内容

(1) 「研究業績説明書（Ⅱ・Ⅳ表）」の修正

【修正理由】

「研究業績説明書（Ⅱ・Ⅳ表）」の「5」欄に関して、『該当理由』という表現を、『「SS」又は「S」と判断した理由』という表現に訂正する等、分かりやすい表現となるよう工夫するとともに、研究業績について、学術的意義、又は、社会、経済、文化的意義において、注目すべき点があれば記述できるようにする。

【修正箇所】

修正に関して、以下で新旧対照表を示しており、修正箇所は赤部分になります。

P36,45 「研究業績説明書（Ⅱ・Ⅳ表）」様式（新旧対照表）

旧	新
5. 4の該当理由を第三者による評価結果や客観的指標等の根拠を示して説明してください。(500字以内)	5. 上記4において「SS」又は「S」と判断した理由を第三者による評価結果や客観的指標等の根拠を示しつつ説明してください。(500字以内)

P39 「2. 各欄の記入に当たっての留意事項」（新旧対照表）

旧	新
(12)「5」欄(14)は500字以内で記入してください。(明朝体10ポイント)	(12)「5」欄(14)は500字以内で記入してください。(明朝体10ポイント)また、当該研究業績で、1)学術的意義、又は、2)社会、経済、文化的意義において、特に注目すべき点があれば併せて記入してください。

P47 「2. 各欄の記入に当たっての留意事項」（新旧対照表）

旧	新
(11)「5」欄(14)は500字以内で記入してください。(明朝体10ポイント)	(11)「5」欄(14)は500字以内で記入してください。(明朝体10ポイント)また、当該研究業績で、1)学術的意義、又は、2)社会、経済、文化的意義において、特に注目すべき点があれば併せて記入してください。

(2) 「重点的に取り組む領域説明書（Ⅲ表）」の修正

【修正理由】

① 「重点的に取り組む領域説明書（Ⅲ表）」の「研究所名」欄は、大学共同利用機関法人のみが記入することとしていたが、中期目標期間の評価に関する説明会において、この欄があるために、「重点的に取り組む領域説明書（Ⅲ表）」を国立大学法人は提出できないと判断しかねない旨の意見があり、当該欄を削除。このことに伴い、当該欄に係る「各欄の記入に当たっての留意事項」の記載も併せて削除する。

「重点的に取り組む領域説明書（Ⅲ表）」の「説明書の作成者」欄の名称を「領域代表者名」に修正。併せて、当該欄に係る「各欄の記入に当たっての留意事項」の記載内容を修正。

【修正箇所】

修正に関して、以下で新旧対照表を示しており、修正箇所は赤部分になります。

P40 「重点的に取り組む領域説明書（Ⅲ表）」様式（新旧対照表）

旧		新	
法人名	研究所名 (③)	法人名	領域代表者名 (④)
説明書の作成者 (④)			

P43 「2. 各欄の記入に当たっての留意事項」（新旧対照表）

旧	新
(3) 「研究所」欄 (③) には、重点的に取り組む領域の実施主体となる研究所名を記載してください (大学共同利用機関法人のみ)。複数の研究所で実施している場合には全ての研究所名を記載してください。	(削 除)
(4) 「説明書の作成者」欄 (④) には、この領域説明書を作成した者の氏名、所属、職名を記入してください。	(4) 「領域代表者名」欄 (④) には、重点的に取り組む領域の代表者の氏名、所属、職名を記入してください。なお、この代表者は、「3」欄にも必ず記入してください。

2. 修正に伴う様式訂正

上記1及び2の修正に伴い、機構ウェブサイト掲載の様式を訂正します。関連するアドレスについては以下のとおりです。

各法人へ送付した「実績報告書作成要領」の印刷物については、この修正は反映できていないので、御留意ください。

◇ 関連アドレス http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/kokuritsu/index.html

※アクセス手順 (アクセス手順が以下のとおり容易になりました)

機構ウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) → トップページの「国立大学法人評価における教育研究評価」ボタンをクリック → 「評価事業 5 国立大学及び大学共同利用機関の教育研究活動の評価」画面 (アドレスは上記のとおり)